やこう

学校だより　令和５年度３月号

令和６年２月２９日
横浜市立矢向小学校
ホームページアドレス
www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yako/

「矢向の森」の春

校長　沼田　留美子

今年もまた校長池の方から「こっこっこっ」とカエルの鳴き声が聞こえてきます。ヒキガエルの鳴き声です。あっという間に池にはたくさんの数のカエルの卵が広がっています。鳴き声を頼りに、石をどけたり、土を掘ったりしてカエルを見つけている子もいます。5棟の裏の梅の木も小さな白い花をつけています。たくさんのつぼみが開花を待つかのように膨らんでいます。「矢向の森」を感じる春の風景です。

創立80周年イヤーもいよいよ大詰めです。3年生以上学級で取り組む「総合的な学習の時間」では、矢向小の伝統や歴史、まちのよさ、学校教育目標にある「矢向の森」という言葉の意味を考える学習がたくさん見られました。矢向小の先輩、まちの人とつながり、矢向小やまちのよさを実感することができました。周年行事を初めて経験する子どもたちにも大きな学びになりました。

６年生の旅立ちの時も近づいてきました。「６年間ありがとうの会」では、これまでの思い出を振り返ったり、合唱をしたりし、さすが６年生という姿で保護者の皆さんに感謝の気持ちを伝えていました。リハーサルに参加した教職員は６年生の美しい歌声に感動していました。「卒業おめでとうバイキング給食」もクラスごとに実施され調理員渾身の特別な料理を嬉しそうにほおばっていました。

保護者の皆様には、学校評価アンケートにご協力をいただいたり、土曜参観にお越しいただいたりし、様々な場で矢向小学校を支えていただきました。いつも温かく見守りご支援くださり、時には厳しいご意見をいただくこともありましたが、学校、地域、保護者が協働して、子どもの健全育成をめざしていくことにつながっていると考えます。年々価値観の多様化や予測不可能なことも見られるようになってきました。このような時代だからこそ、矢向小学校に関心を寄せていただき、まちの宝である子どもたちの幸せな未来に向けて力をつけていくことが大切です。子どもはまだまだ成長の途中にあり、失敗することもたくさんあります。失敗するからこそ学ぶことがたくさんあります。ピンチはチャンスです。よりよい自分づくりにむけて、よく考え最後まであきらめないたくましさとしなやかな心をもった矢向の子どもを大人も「本音、本気、本物」で育てていきたいと思います。

秋から建築が始まった仮設校舎も完成が間近です。新しい机、ロッカーなど仮設とはいえ、新しいものがたくさん詰まっています。そして、長く愛されてきた「森の広場」がある５棟は、４月から工事が始まり使えなくなります。しばらくご不便をおかけすることになりますが、子どもたちの学びを止めないよう教職員、家庭、まちの力を合わせて、教育活動に邁進してまいります。令和５年度に皆様からいただいた、たくさんのご支援に心から感謝いたします。令和６年度も矢向小学校をどうぞよろしくお願いいたします。